

### バンダイこどもアンケートレポート Vol.243

## 「小中学生の“遊び”に関する意識調査」結果

- TOPIC①:** 小中学生の遊び **小学生1位「遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ」、中学生1位「スマートフォン・携帯電話などネットワーク端末」。**  
 小学校5～6年生のタイミングで、人気の遊びは“外遊び”から、「ゲーム」や「スマートフォン」に変化。
- TOPIC②:** **最近の子どもの遊び場所「自宅」で遊ぶ子どもは92.1%！「公園」で遊ぶ子どもも49.3%と半数近い結果に。**  
 親子で比較すると、子どものランキング上位には「ショッピングモール」、親世代には「空き地」がランクインしており、世代で遊び場所の違いも。
- TOPIC③:** 学校の授業以外の過ごし方 1位は「屋内・屋外で遊ぶ」(94.0%)  
**4割以上の子どもが「テレビ以外で動画視聴(YouTubeなど)」を楽しむという結果も。**
- 総括 :** バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、子どもの“遊び”の実態を探るため、小学1年生から中学3年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)900人を対象に、「小中学生の“遊び”に関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。【実査期間2018年3月23日(金)～3月25日(日)】

**TOPIC①:** 小中学生の遊び **小学生1位「遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ」、中学生1位「スマートフォン・携帯電話などネットワーク端末」。**  
**小学生5～6年生のタイミングで、人気の遊びは“外遊び”から、「ゲーム」や「スマートフォン」に変化。**

### 【小中学生の遊びの内容】 (複数回答 n=900)

全体 TOP5			小学生 TOP5			中学生 TOP5		
1位	スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン	45.3%	1位	遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ	51.2%	1位	スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン	63.3%
2位	ゲーム(家庭用)	40.1%	2位	ゲーム(家庭用)	44.8%	2位	お買い物	41.0%
3位	お買い物	39.7%	3位	おもちゃで遊ぶ(ごっこ遊び・ままごと含む)	41.5%	3位	娯楽施設(映画館、カラオケ、ゲームセンター、ボウリング場など)で遊ぶ	36.3%
4位	ゲーム(携帯用)	38.2%	4位	球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど)	40.2%	4位	ゲーム(携帯用)	35.0%
5位	球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど)	36.0%	5位	ゲーム(携帯用)	39.8%	5位	ゲーム(家庭用)	30.7%

小学1～2年生 TOP5			小学3～4年生 TOP5			小学5～6年生 TOP5		
1位	おもちゃで遊ぶ(ごっこ遊び・ままごと含む)	63.5%	1位	遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ	53.5%	1位	ゲーム(家庭用)	48.5%
2位	遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ	61.0%	2位	ゲーム(家庭用)	49.0%	2位	ゲーム(携帯用)	各46.0%
3位	お買い物	41.5%	3位	ゲーム(携帯用)	45.0%	2位	スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン	
4位	ゲーム(家庭用)	37.0%	4位	おもちゃで遊ぶ(ごっこ遊び・ままごと含む)	各43.0%	4位	球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど)	42.0%
5位	球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど)	35.5%	4位	球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど)		41.0%	5位	お買い物

子どもの“遊び”に関する実態を探るため、「普段、何をして遊んでいるか」について聞いたところ、全体の1位は「スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン」(45.3%)という結果になりました。

学齢別にみても、小学1～2年生、小学3～4年生では「おもちゃで遊ぶ(ごっこ遊び・ままごと含む)」以外に、「遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ」、「球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボール)」が共通してTOP5にランクインしており、“外遊び”をする傾向が高いことがうかがえます。小学5～6年生になると、「ゲーム(家庭用)」(48.5%)が1位、中学生になると6割以上が「スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン」(63.3%)を回答していることから、小学5～6年生のタイミングで、“外遊び”から、「ゲーム」や「スマートフォン・携帯電話等」に遊び方が変化していることが読み取れます。また、中学生の3位には「娯楽施設(映画館、カラオケ、ゲームセンター、ボウリング場など)で遊ぶ」(36.3%)がランクインしており、小学生に比べて、行動範囲を広げて遊びを楽しんでいる様子もうかがえました。

また、普段「遊ぶ相手」について聞いたところ、小中学生全体では約75%が「一人で」(74.3%)と回答、次いで2位「学校の友達(同学年)」(70.5%)、3位「親(52.2%)」という結果になりました。(最終頁の参考データを参照。)

**TOPIC②: 最近の子どもの遊び場所「自宅」で遊ぶ子どもは92.1%!**

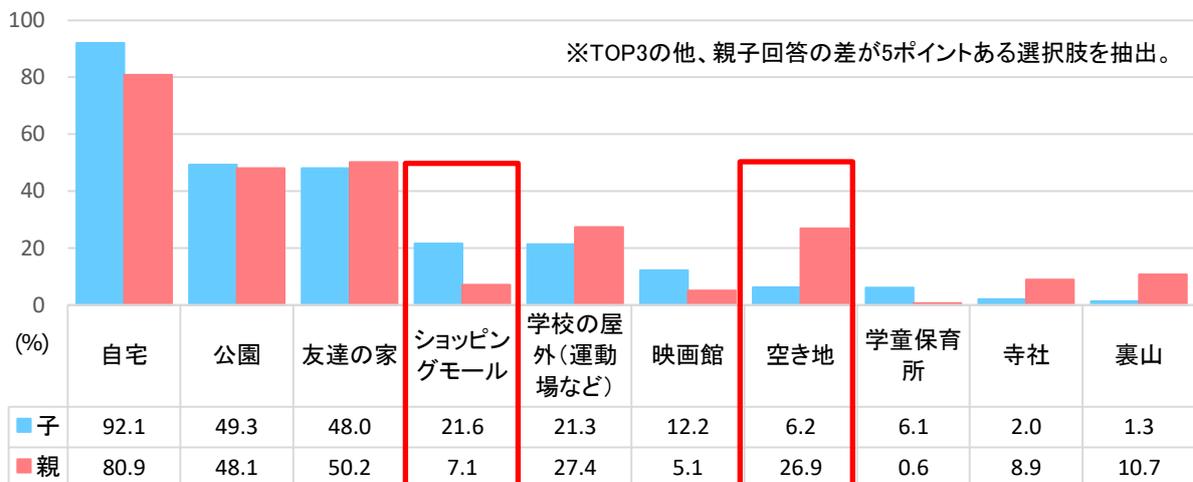
**「公園」で遊ぶ子どもも49.3%と半数近い結果に。**

**親子で比較すると、子どものランキング上位には「ショッピングモール」、親世代には「空き地」がランクインしており、世代で遊び場所の違いも。**

**【子どもの普段遊んでいる場所／(親が)子どもの頃遊んでいた場所】**

(複数回答 n=869 ※「遊ぶ」と回答した人のみ)

子どもの遊び場所 TOP5			親が子どもの頃遊んでいた場所 TOP5		
1位	自宅	92.1%	1位	自宅	80.9%
2位	公園	49.3%	2位	友達の家	50.2%
3位	友達の家	48.0%	3位	公園	48.1%
4位	ショッピングモール	21.6%	4位	学校の屋外(運動場など)	27.4%
5位	学校の屋外(運動場など)	21.3%	5位	空き地	26.9%



「普段遊んでいる場所／(親が)子どもと同じ年齢の頃に遊んでいた場所」について親子にそれぞれ聞いたところ、親子共に「自宅」が1位となり、子どもにおいては、9割以上が「自宅」で遊んでいることがわかりました。一方で、2位にランクインした「公園」は半数近い49.3%の子どもが回答しており、「自宅」での遊びがメインとなっている一方で、依然として外での遊びを楽しんでいることがうかがえます。

また、親子の回答を比較してみると、子どものランキングでは「ショッピングモール」(21.6%)が4位にランクイン、親のランキングでは「空き地」(26.9%)が5位にランクインしており、世代で遊ぶ場所に違いが見える結果となりました。5位以降でも「映画館」や「学童保育所」、「寺社」、「裏山」などで、親と子の回答で5ポイント以上の差が出ており、遊ぶ環境が変化していることが読み取れる結果となりました。

**TOPIC③: 学校の授業以外の過ごし方 1位は「屋内・屋外で遊ぶ」(94.0%)。4割以上の子どもが「テレビ以外で動画視聴(YouTubeなど)」を楽しむという結果も。**

学校の授業以外の過ごし方について聞いてみると、9割以上の子どもが「屋内で遊ぶ・屋外で遊ぶ」(94.0%)と回答しており、多くの子どもたちは屋内・屋外いずれかで遊んで過ごしていることがわかりました。また、「テレビを見る」(71.6%)や「家族と過ごす」(55.4%)が上位に入っていることから、家で過ごす時間が多いこともうかがえます。その他、5位には「テレビ以外で動画視聴(YouTube等)」(43.4%)がランクイン。スマートフォンやタブレットの普及も影響しているのか、YouTubeなどの動画視聴の人気もうかがえる結果となりました。

**【学校の授業以外で子どもが時間を使っていること】**  
(複数回答※ n=900)

全体 TOP5		
1位	屋内で遊ぶ・屋外で遊ぶ	94.0%
2位	学校の宿題	79.3%
3位	テレビを見る	71.6%
4位	家族と過ごす	55.4%
5位	テレビ以外で動画視聴(YouTubeなど)	43.4%

※以下、全17項目より複数回答を実施。

学校の宿題、塾に行く、塾の宿題、学校や塾以外の勉強、習い事、習い事の自主練習、学童、部活動、テレビを見る、テレビ以外で動画視聴(YouTubeなど)、メールやSNS(LINE、Twitter、Facebookなど)、読書、屋内で遊ぶ、屋外で遊ぶ、家族と過ごす、家事手伝い、その他(フリーアンサー)

### 【バンダイからのコメント】

今回の調査では、小中学生が普段どのように遊んでいるかについて、実態を探るため、“遊び”に関する意識調査を実施しました。

「現在の遊び環境」についても聞いたところ、子どもからは「遊べる時間が少なすぎる」(36.7%)、「もっと屋外の遊び場を増やして欲しい」(24.8%)といった意見が上がり、遊ぶ環境についての要望が多く見受けられました。一方で、親からは「今よりも長時間、ゲームをさせたいと思わない」(40.9%)、「事件や事故、怪我が不安」(37.9%)といった声が多く上がり、子どもの遊び方について心配している様子もうかがえる結果となりました。また、親子共に「友達と仲良く遊べていると思う」(子:47.0% 親:34.0%)という声も多くあがったことから、遊ぶ相手に関しては一定の安心感を抱いていることも読み取れました。

今回の調査結果から、一口に“遊び”と言っても、学年によって遊び方に大きな違いが見られたり、遊び場所も親御さんと子どもたちの世代では違いがあったりすることがわかりました。時代によって変わりゆく“遊び”に関して、今後とも動向を追っていきたいと思います。

■調査概要

【調査目的】子どもの「遊び」への関心や意識・実態を探る

【調査地域】全国

【対象者条件】小学生1年生～中学生3年生の子どもを持つ親  
※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】2018年3月23日(金)～3月25日(日)

【サンプル数】900人

【構成】

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生
男子	50人								
女子	50人								

<参考>遊ぶ相手について

(複数回答 n=869 ※「遊ぶ」と回答した人のみ)

遊ぶ相手(全体) TOP5		
1位	一人で	74.3%
2位	学校の友達(同学年)	70.5%
3位	親	52.2%
4位	兄弟姉妹	37.7%
5位	近所の友達	14.8%

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>

**次回こどもアンケート  
6月下旬に「キャラクターに関する意識調査」配信予定**